

「2020 年度スカウトクラブ総会 議事録」

1.日時 場所：2020 年 2 月 16 日(日) 13:00～15:00

霊南坂教会 1 階ホール

2.出席者：杉原兄,古谷姉,西郷姉,小崎姉,渡辺澄兄,五十野兄,矢澤姉,檜垣姉,高玉兄,渡辺博兄,白井兄
以上出席 11 名(順序不同) 賛成委任状:61 名 合計 72 名

3.議事内容：事前配布したスカウトクラブ総会資料にもとづき議案審議

- ・議事進行 ----- 白井兄
- ・開会式：開会の祈り ----- 小崎敬子姉
- ・開会の挨拶 ----- 西郷会長
- ・議題

1) 出欠葉書の報告 – 会員向け,OB/OG 向け送付した出欠葉書の回答概要を説明：白井

- ・ OB/OG 向け総会案内葉書 --- 183 名
- ・ 会員向け出欠,委任状葉書 --- 183 名

- ① 委任状況：出席者多数の賛否に同意された人数 ---- 72 名(‘20/2/15 現在)
- ② 高齢による体調不良や家族の介護および退会希望が増加。また PC メールやスマホ SNS での連絡でも増加しております。
- ③ 連絡書類等の配布についての回答状況

	[会 報]	[総会資料]
配布継続希望	36 名	24 名
配布不要	13 名	26 名
未回答	12 名	11 名

- 2) 2019 年度 事業報告 ----- 総会資料参照(2 ページ)：白井
- 3) 2019 年度 決算報告 ----- 総会資料参照(4,5 ページ)：白井
- 4) 2020 年度 事業計画 ----- 総会資料参照(3 ページ)：白井
- 5) その他「スカウト基金」活用について ----- 総会資料参照(6 ページ)
- 6) 2020 年度 予算案 ----- 総会資料参照(5 ページ)。：白井

以上、項 1)～6)議案毎の内容説明と質疑応答(下記項 7)を実施致しました。本総会は、昨年実施致しましたアンケート集計結果をもとに「スカウト基金」の活用等について活発な意見交換を行い、①「スカウトクラブの活動」②「スカウト基金の活用」について下記の通りの結論に達しましたのでご報告いたします。

なお、各議案は特段の異議なく承認されました事をご報告いたします。

7) 議案質疑と懇親会内容について(概要)

各提議をもとに参加各位から数多くの意見,提案が有り、活発な討議を行いました。

7-1) 2019 年度 事業報告

- ・意見：年 11 回もの月例会を実施しているので、もっと有効な行事検討が可能？
- ・その他特段の質問/異議はありませんでした。

7-2) 2019 年度 決算報告

- ① 決算報告
 - 日下部兄,柳兄による会計監査結果は適正であった旨の連絡を受けた事を報告。
 - ・決算報告/内容に関して、特段の質問/異議はありませんでした。
- ② 教会バザー関係収支決算報告
 - ・今回収支は、黒字計上となった事を説明
 - 要因は「ジャム」等の出店商品が完売できた事と「ジャム」の種類を一品追加したことである。

7-3) 会報編集担当の交代と会報第 53 号の発行について

- ・長年、会報編集に携わっていただきました田中新二兄の伊豆の国市引越しを機に退任したい旨のお考え受け、今般会報第 53 号の編集作業を若手で BSOG 渡辺博兄に引き継ぎいたしました。渡辺兄の今後の活躍をお願いいたします。そして、長年編集作業にあたられた田中兄にあらためて感謝申し上げます。
西郷会長からも特に「会員への情報提供の大切さと会報による BS/GS 活動の PR のツールとなっているので今後の活躍と継続をお願いします。」との発言があった。

7-4) 2020 年度 事業計画

次の四つの項目をテーマに活動し予算立てしている事を説明。

- 1 スカウト名簿の管理と年会費等の会計管理を実施
- 2 会報発行, 霊南坂スカウトの歴史を記録するホームページの充実
- 3 会員同士の親睦会, 茶話会の実施による会員間の交流を支援
- 4 スカウト基金の現スカウト活動への支援に活用する方策を検討

7-5) [会員同士の親睦会, 茶話会の実施] [スカウト基金の活用]の協議について

① 会員同士の親睦会, 茶話会の実施

- ・BS/GS 共に個人的つながりによる懇親会や情報連絡は実施されている様である。
只、会って飲み食いするだけの会では意味がないのではないか。
- ・会員は、懐かしい仲間との再会する場の提供を希望しているのではないか。
- ・現役リーダー, 若手団委員とクラブ会員のご苦労さん会開催し相互交流が必要では。
- ・クラブの存在価値 ---以前は月例会も教会利用。教会中心の集まりで存在を PR していた。
- ・クラブ新入会員の積極的加入活動を実行しているか? その努力成果が見えてこない。
- ・会員の高齢化と実働可能な若手(?)会員の減少でクラブの活動パワーが無いのが現実。
- ・BS/GS スカウトの現状---BS/GS 団委員長との日程調整し、今後更に協議が必要。
GS:スカウト減への対応として近隣団との合同活動実施。スカウトクラブも同様に!
GS:若手リーダーを中心に SDGs(持続可能な開発目標)をテーマに活動し活性化実現。
金銭以外の支援はリーダー不足時の支援, 海外コンクトの支援, 活動記録の整理支援
多くの課題, 問題がありますが、現団メンバーとのコミュニケーションを計る会合を手がかりにしたスカウトクラブ会員間の交流と現団との意思疎通をはかる事と致します。

② スカウト基金の活用

アンケート集計結果をもとに、BS/GS 側から要望のある現団への金銭的支援の検討を提案したところ、多くの意見が寄せられ活発な協議をいたしました。

- ・BS/GS の活動費や野営費および制服購入費が父兄に過大な負担となっている現実は、いままでの説明で理解している。
- ・新たなスカウト達が入れる状況にしないと霊南坂スカウトは消滅するとの見方もある。
- ・BS, GS 活動に必要な備品(テント, 白杵等々)で形として残る物品寄贈にあてたら。
- ・公平で継続的な金銭支援は、僅かな「基金」を取り崩すとアツと言う間に何も残らず無くなる。

そのほか色々なご発言や情報等が出され、「スカウト現役, リーダ」への金銭的支援への「スカウト基金」の活用には否定的な意見が多数となり、今時点での総会結論は以下の通りと致しました。

4 本年度の重要活動について

以上の協議に示す通り、本年度のスカウトクラブ重点活動を以下の項目と致します。

- | |
|--|
| <p>③ スカウトクラブ会員, 役員と現団リーダー, 団委員長, 団委員等全員が参加する「交流/活動慰労会」を計画, 実施する。
・テーマと内容, 開催場所等は別途スカウトクラブ月例会で検討する。
・一回目開催日は夏キャンプ以降を目途に調整する。</p> <p>④ 「スカウト基金」は今後生じる事態や出費に備えて現状のまま凍結する。</p> |
|--|

なお、本議事録は、発言順序を編集し記述に前後した箇所があります。

以上